

平成 29 年 1 月 16 日現在

年末年始の本船荷役実績の傾向等について  
(H28.12.31～H29.1.4)

◎昨年との比較

		昨年	
◦年末年始荷役実施港	61港	(63港)	2港減
◦荷役隻数	825隻	(804隻)	21隻増
内訳			
コンテナ船	247隻	(245隻)	2隻増
RORO船	43	(48)	5隻減
自動車専用船	11	(4)	7隻増
在来船	305	(295)	10隻増
その他船	219	(212)	7隻増

◎傾向

- 昨年と比べ、全体の隻数は増加しているが、6大港については減少しており、その他港湾の増加によるものである。また、日別の実績は、例年と傾向は変わらない。  
なお、6大港では京浜・名古屋が減少し、阪神・関門が増加している。
- 船型別の実績は、昨年と比較し、RORO船が減少した以外は増加している。  
なお、コンテナ船については2隻増であるが、ほぼ例年並の隻数となっている。

## 平成28年12月31日～平成29年1月4日の本船荷役実績

(隻)

区分	コンテナ船	その他 〔RORO、自動車〕 〔在来船、その他〕	合計
東京	41 (43)	4 (7)	45 (50)
横浜	30 (41)	11 (3)	41 (44)
川崎	2 (4)	14 (20)	16 (24)
名古屋	24 (32)	18 (23)	42 (55)
大阪	35 (26)	50 (48)	85 (74)
神戸	32 (31)	25 (21)	57 (52)
関門	11 (8)	18 (18)	29 (26)
6大港計	175 (185)	140 (140)	315 (325)
千葉	1 (2)	41 (35)	42 (37)
清水	6 (6)	3 (0)	9 (6)
四日市	2 (4)	4 (3)	6 (7)
博多	9 (8)	12 (13)	21 (21)
11港計	193 (205)	200 (191)	393 (396)
その他の港湾 (50港)	54 (40)	378 (368)	432 (408)
合計 (61港)	247 (245)	578 (559)	825 (804)

注) 1. ( )内の数値については昨年実績

2. 数値は、外航船、内航船の合計値